

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 3 月 26 日 (2020.3.26)

【公開番号】特開 2019-213959 (P2019-213959A)
 【公開日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-051
 【出願番号】特願 2019-174224 (P2019-174224)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 29 日 (2020.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域へ向けて遊技球を発射する発射装置と、遊技球が通過可能に構成される通過手段と、その通過手段を遊技球が通過可能とする開位置および前記通過手段を遊技球が通過不能とする閉位置の間で変位する開閉手段と、その開閉手段を駆動する駆動手段と、を備える遊技機において、

前記通過手段を通過した遊技球を検出可能に構成される検出手段と、

前記通過手段を通過した遊技球が流下可能に構成され、前記検出手段と連結され、通過した遊技球が前記検出手段に検出される流下経路と、

前記流下経路内の遊技球に作用可能に構成され、前記流下経路を遊技球が通過可能な期間を制限する制限手段と、を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

基板ボックスを備えることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

入球口（通過手段）を開閉する開閉手段の開閉幅を変化させることで、入球口への入賞効率を変化させる遊技機がある（特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、通過手段への入球について改良の余地があるという問題点があった。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0005】

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、通過手段への入球について改良できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技領域へ向けて遊技球を発射する発射装置と、遊技球が通過可能に構成される通過手段と、その通過手段を遊技球が通過可能とする開位置および前記通過手段を遊技球が通過不能とする閉位置の間で変位する開閉手段と、その開閉手段を駆動する駆動手段と、を備える遊技機であって、前記通過手段を通過した遊技球を検出可能に構成される検出手段と、前記通過手段を通過した遊技球が流下可能に構成され、前記検出手段と連結され、通過した遊技球が前記検出手段に検出される流下経路と、前記流下経路内の遊技球に作用可能に構成され、前記流下経路を遊技球が通過可能な期間を制限する制限手段と、を備える。

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0007
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0007】

請求項2記載の遊技機は、請求項1記載の遊技機において、基板ボックスを備える。

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0009】

請求項1記載の遊技機によれば、通過手段への入球について改良することができる。

【手続補正8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0010】

請求項2記載の遊技機によれば、請求項1記載の遊技機の奏する効果に加え、基板ボックスに基板を収容することができる。